

## 墨田区社会福祉法人連絡会（仮称）第3回準備会 議事録

日時	平成 30 年 9 月 20 日（木） 午前 10 時 5 分～10 時 53 分																													
場所	墨田区社会福祉協議会（墨田区東向島 2-17-14 すみだボランティアセンター）																													
議題	これまでの議論のとりまとめ・今後の会議スケジュールについて等																													
出席者 （敬称略）	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">法人名</th> <th style="width: 33%;">役職</th> <th style="width: 33%;">氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>爲宝会</td> <td>施設長 職員</td> <td>井上 勝一郎 結城 繁幸</td> </tr> <tr> <td>雲柱社</td> <td>理事長 理事</td> <td>服部 榮 川島 克之</td> </tr> <tr> <td>興望館</td> <td>職員</td> <td>大束 明</td> </tr> <tr> <td>墨田区社会福祉事業団</td> <td>総務課長</td> <td>荒光 勝巳</td> </tr> <tr> <td>賛育会</td> <td>総務部長</td> <td>山本 雅美</td> </tr> <tr> <td>同愛記念病院財団</td> <td>事務局長</td> <td>三井 光義</td> </tr> <tr> <td>みんなのおうち</td> <td>理事長</td> <td>西村 孝幸</td> </tr> <tr> <td>墨田区社会福祉協議会</td> <td>会長</td> <td>西原 文隆</td> </tr> </tbody> </table>			法人名	役職	氏名	爲宝会	施設長 職員	井上 勝一郎 結城 繁幸	雲柱社	理事長 理事	服部 榮 川島 克之	興望館	職員	大束 明	墨田区社会福祉事業団	総務課長	荒光 勝巳	賛育会	総務部長	山本 雅美	同愛記念病院財団	事務局長	三井 光義	みんなのおうち	理事長	西村 孝幸	墨田区社会福祉協議会	会長	西原 文隆
法人名	役職	氏名																												
爲宝会	施設長 職員	井上 勝一郎 結城 繁幸																												
雲柱社	理事長 理事	服部 榮 川島 克之																												
興望館	職員	大束 明																												
墨田区社会福祉事業団	総務課長	荒光 勝巳																												
賛育会	総務部長	山本 雅美																												
同愛記念病院財団	事務局長	三井 光義																												
みんなのおうち	理事長	西村 孝幸																												
墨田区社会福祉協議会	会長	西原 文隆																												

内容

1. 墨田区社会福祉協議会 西原会長挨拶

2. 協議事項 司会進行：墨田区社会福祉協議会 西原会長

(1) これまでの議論のとりまとめについて

<墨田区社会福祉協議会 西原会長>

ただいまから墨田区社会福祉法人連絡会（仮称）第3回準備会を開会いたします。本日は連絡会の設置に向けて、これまでの協議内容をまとめていくことで、確認をさせていただきたいと考えています。

これまでの主なご意見等まとめておりますので、事務局長から説明をいただきます。

<墨田区社会福祉協議会 栗田事務局長>

～事前送付資料とこれまでの準備会の協議内容について説明～

<墨田区社会福祉協議会 西原会長>

これまでの皆様からの発言をまとめまして、事務局長より説明させていただきましたが、それを踏まえて何かご発言があればお願いいたします。

<みんなのおうち 西村様>

これまでの準備会の議論をふまえ、やはり情報の共有、積極的に活動すること、その他の課題に対し対処していくことが、大事であると思いました。情報共有ということでは、福祉環境がさまざまに変化している中で、一法人だけでは対処できない問題があったり、制度改変に伴い私どもの法人も新たな課題が出てきました。そういった課題も皆さんと情報共有し、相談することで解決の糸口が見つかるのではないかと思います。

連絡会の立ち上げにあたり、まずは定期的に情報が共有できる場を設け、その中から具体的な取組みが少しずつ見えてくるのではないかと思います。

<雲柱社 服部様>

私どもは、墨田区で児童館を運営しています。主に子ども達の支援をしていますが、他の法人と連携し、ボランティアとして子ども達の支援に来ていただけるような交流ができるといいなと思います。他の法人の情報はなかなか把握できないことが多いので、連絡会にて情報共有ができるといいなと思います。

<賛育会 山本様>

今までの発言を聞いていて思うのは、社会福祉法人は一般の人から見て何をしているのかイメージがつきにくい、理解されていないということです。各法人との連携も大切ですが、まずは社会福祉法人が何をしているのか一般の人に知ってもらえるような活動も必要ではないかと思っています。

もう一つは、具体的な連携になってしまいますが、想定外の災害が広域に起こっている中で、墨田区を含む近隣の5区を対象に水害マップを作成したと聞きました。区内だけではなく近隣の区とも連携して公益活動の取組みが広がっていけばいいと思います。

また、具体的な活動案として、例えば今度当法人内で防災研修を行います。こうした研修に他の法人が参加できるような活動もできればいいなと思います。

<同愛記念病院財団 三井様>

私どもは、病院事業と特別養護老人ホームの運営を行っておりまして、特養の中では高齢者の地域包括支援センター、みまもり相談室、居宅介護支援事業所、短期入所生活介護、通所介護事業を行っています。病院内では、無料低額診療事業を行っています。また、法人として公益活動も必要ではないかと、2001年から隅田公園にて月に1回隅田川医療相談会を実施しています。この活動は同愛記念病院のほか、亀戸ひまわり診療所、大学生、ボランティア団体、当院の医師、看護師、事務員が出向き、医師の診断のもと薬を無料で配布しています。これを地域の公益活動として位置付けて行っていますが、他の法人がどんな活動や取組みをしているか知らないため、この連絡会を活動の拠点として、一緒に公益活動ができればと思っています。

墨田区内においては、墨東病院と当院が400床以上ある病院ということで、中核的な立場にならなければいけないのではないかという自覚は持っています。ぜひともこの連絡会の活動にて、皆様と連携させていただければと考えています。

<社会福祉事業団 荒光様>

連絡会の立ち上げにあたり、地域の社会福祉法人の現状について理解し、連携を図るということは、非常に価値のあることではないかと思っています。また、大小さまざまな法人がある中で、法改正等に対応するため、制度に対する理解の誤認識等があったとしても、お互いに連携し情報共有できる環境であればその差異も無くなると思います。

実際に連絡会として何か活動すると決まった際は、人的手当をしなければいけない状況になると思います。私どもの法人は、自主事業は無くすべて委託事業であるため、連絡会での活動に対する費用負担も含め相談、検討が必要になってきます。社会福祉法に基づいて活動をしていきますが、金銭面で補助金等の支給はありますか。

<墨田区社会福祉協議会 栗田事務局長>

荒光さんの質問は、人的対応が難しい状況である中で、こういった公益的な活動を行った場合に、人的対応に対する資金面の支援が期待できるのかということかと思いますが、おそらく無いと思います。まず社会福祉法が改正された背景には、一部の社会福祉法人の中には裕福な法人もあり、社会福祉充実残高を有効に活用することによって、より多くの方に対してサービスを提供すべきではないかということが根底にあります。国の考え方は、社会福祉充実残高があるのであれば公益的な活動を行いなさいといった発想であるため、何らかの財政的支援は無いと思います。ただ、社会福祉法人連絡会につきまして、運営に係る経費は区から出たり、限られた額ではありますが、東京都社会福祉協議会から助成されるものはある程度想定しています。財源を措置されるとすれば、使い方に一定の制約が出てしまったり、十分な額が手配されるかどうかははっきりしにくいため結論から言うと、社会福祉法人連絡会で公益活動を協力して行う場合の財源は、あまり多くを期待できないとご理解いただいたほうが良いと思います。

<墨田区厚生課 笠川係長>

地域の公益的な取組みということで、法改正に伴い社会福祉法人には多くの期待がされています。あくまでも法人の自主的な判断、法人の資産の状況を勘案しながら進めていただくべきものという位置づけとなっております、言い換えればお金をかければ良いということではなく、各法人のアイデアやノウハウを活用していただくことも立派な地域の公益的な取組みに含まれるであろうと考えています。我々も法人のそれぞれの状況に即した公益的な取組みを、ご検討いただくというところで、ご期待申し上げているところです。こちらがお金を支給して公益的な取組みをしていただくといった直線的なやり取りは、正直難しいと思います。ただ一方で社会福祉協議会がこうした会議を開いていただく、また情報を交換するというような部分に関して、可能な範囲でのお手伝いはできるのではないかと思います。例えば、区内の法人の活動事例を紹介したり、この場に参加していない区内の法人に対して情報を伝えることは、十分に考えられることです。そうした部分で我々の可能な領域を、この連絡会でうまくご活用いただけないかと考えている次第です。

<墨田区社会福祉協議会 西原会長>

連絡会の設置にあたりまして、規約を作成し事業計画、予算等検討しなければなりませんので、またその中にご協議いただくことになると思います。その時はよろしく願います。

<興望館 大東様>

皆さんのご発言をお聞きして、やはり一法人で何かをすることは限界があると思いま

す。またどういったことが公益活動に値するのかの判断も難しいと思います。それぞれの法人で主たる事業が違いますので、それぞれの特性を生かすという意味でも、異なる分野の法人が集まるということは良い事だと思います。また分野が違うということで、発想や着想が異なる部分も多いと思いますので、そういったことを持ち寄ることにより何かを生み出すことにつながられることが、この連絡会の主なねらいだと思います。

今後区内での活動が広がっていくと、近隣の区とも活動を通してつながりができ、より公益活動が広がっていくと思います。

#### <雲柱社 川島様>

現在、雲柱社の理事、文花児童館の施設長を兼務しています。文花児童館から徒歩すぐの場所にて、共愛館、興望館と協力し、また賛育会より助言をいただきながら子ども食堂も実施しています。毎週火曜日に地域の子ども達や親子連れがお客様として参加しています。児童に関わる社会福祉法人が連携し事業を行うことは、全国的にもめずらしい事だと思います。

これまでの準備会の議事録を拝見しました。公益的な事業を連携して行っていくということは、法人間の連絡調整やコーディネートをどこの法人が担うのかがポイントになると思います。この連絡会が拠点となり機能することで、今後この取組みが面として広がることはとても良いことだと思います。これからもいろいろとご指導、ご助言いただき、私どもの法人も協力していきたいと思っています。

#### <爲宝会 井上様>

前回、早めに連絡会を立ち上げた方がいいのではないかという意見もありました。これまでの発言をまとめた資料を見て、各法人が抱えてる問題の中から、ある一定の目処を付けて何らかの方法で、まず何かスタートさせてみるのが重要ではないかと思いました。

今お話がありました子ども食堂に関しては、私どもの法人は老人施設の運営を行っていますので直接関わりないことかもしれませんが、活動が広がる中で場所の提供をさせていただくことで、協力をすることができるのではないかと考えていました。現在法人内で行われている事業を、連絡会でも実践して展開し、広げていくことも一つの方法だと思います。何かを具体的に始めてみるということが、必要ではないかと思います。

#### <墨田区社会福祉協議会 西原会長>

公益的な活動について、私自身もどのような活動であるか分からない状況から、準備会を重ねるごとに内容を理解することができました。そして、この連絡会が大変必要性があり、立ち上げをしていかなければいけないと考えています。

それでは、皆様からのご意見に沿いまして、連絡会の設置の準備を進めさせていただきたいと思っています。

次に今後の進め方に関して皆様からのご意見をいただきたいのですが、連絡会の設置にあたりましては、規約、事業計画、予算、役員構成等を決定することが必要になります。

当初はあらかじめ事務局で案を作成して、本日の会議でご協議いただくことも検討しましたが、これらについては、これまでご議論をいただいてまいりませんでした。

そこで、皆様のご意見をより反映させるため、幹事会を設けて、それぞれの案の検討をしていただいております。まず幹事会を設けることについて皆様いかがでしょうか。

(賛成多数)

それでは、幹事会を設けさせていただき、規約、事業計画、予算、役員構成等のそれぞれの案について、ご協議いただくことといたします。

次に幹事会のメンバーについてでございますが、ここに出席されてます皆様は何度か準備会に出席されている法人がほとんどです。他にも区内には社会福祉法人がありまして、区内に本部がある法人は22法人、区外に本部がある法人は7法人、全部で29法人あります。今まで参加されてない法人を幹事に指名することは難しいと思います。今までの経緯、経過をご存じの皆様方が中心となって検討していただくことが、いいのではないかと考えています。本日出席されてます法人の皆様全員が、幹事になっていただけたらありがたいのですが、お引き受け願えますでしょうか。

(満場一致)

よろしいでしょうか、それではそのようにご承知おきいただければと思います。

## (2) 今後の会議スケジュールについて

<墨田区社会福祉協議会 西原会長>

ただいまご決定をいただいた幹事会の設置に伴い、今後の会議スケジュール案について参考にご事務局から説明いたさせます。

(資料配布)

<墨田区社会福祉協議会 栗田事務局長>

～社会福祉法人連絡会設立に向けた今後の予定案について説明～

<墨田区社会福祉協議会 西原会長>

ただいまの説明に関して、ご質疑・ご意見があればお願いします。

<墨田区厚生課 笠川係長>

これまでにこの連絡会準備会に参加されていない法人があると思いますが、設立に向けた動きについての情報提供は、社協として未参加の法人に対してどのような形で進めるのか、決まっていたら教えていただきたい。

<墨田区社会福祉協議会 西原会長>

準備会の開催前には、次第や資料を事前配布し、準備会後には参加されていない法人にも状況が分かるように議事録を送付し、周知してきました。

<墨田区社会福祉協議会 栗田事務局長>

準備会に参加されていない区内の法人の皆様や、区外に本部や事業所がある法人の皆様、より多くの方に参加していただきたいと考えておりますので、途中経過についてもご報告はさせていただいております。最終的に、設立趣意書という形で議案がまとまる段階で、改めてこの社会福祉法人連絡会のご参加をお声かけさせていただきたいと思っております。

<みんなのおうち 西村様>

私どもの法人は保育園を運営しており、定期的に関係団体が集まる機会が多くありますので、この連絡会についても関係団体へ情報提供させていただいております。子ども支援に関わる団体の代表として、この連絡会に参加しているという気持ちでいますので、他の団体、また社会福祉法人に連絡会の動きを伝え、参加を促したいと思っております。

<墨田区社会福祉協議会 西原会長>

次に次回の準備会についてですが、幹事会での検討を待つて開催をさせていただくこととなります。現時点ではスケジュール案のように、12月頃に開催をしたいと考えておりますが、具体的な日程については、改めて皆様とも調整をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

本日、ご協議いただくのは以上でございますが、皆様から他に何かありますでしょうか。

<雲柱社 服部様>

予算の件ですが、連絡会に参加した法人が支出するということですか。

<墨田区社会福祉協議会 栗田事務局長>

今のところ予算のことについてはまだ詰めていませんが、あくまでも連絡会の運営に関する予算ということで、ごくごく限られた予算というふうに考えています。それはまた案として作成したいと思っておりますので、その場においてご協議いただきたいと思っております。公

益的な活動が予定されるようであれば、その分の経費を盛り込んでおくという考え方もあるのではないかと思います。

<墨田区社会福祉協議会 西原会長>

経費の話ですが、なるべく費用がかからないで、有意義な会になるように努めていくことがいいのではないかと思います。

他に何かございますでしょうか。

特にないようですので、以上で本日の社会福祉法人連絡会準備会を閉会します。ご協力ありがとうございました。

#### 決定事項

幹事会の設置

次回幹事会開催予定：10月下旬頃（後日改めてご連絡いたします。）

次回準備会開催予定：12月頃（後日改めてご連絡いたします。）

次回準備会の予定：[議題] 幹事会で検討した規約、役員、事業計画、予算案の承認。  
設立趣意書の決定。設立総会開催内容、開催日、場所の決定。

作成者： 墨田区社会福祉協議会 澤 沙紀



